

立花運輸倉庫 株式会社

健康で長く働き続けてもらうために、 自己管理の必要性を日常的に啓蒙

◆ 健康経営に取り組み始めたきっかけとは？

物流サービスを提供する当社の従業員の平均年齢は51～52歳。40歳以上の方が約8割を占めており、定年は70歳と高齢です。当社で長く元気に勤めてもらうためには、健康に向けた取り組みが欠かせません。そこで、2017年から取り組みを強化。協会けんぽから届くポスターを掲示したり、社内報や手作りの健康新聞などで健康に関する情報を定期的に発信し続けてきました。以前は特定健診を受診しそびれるドライバーもいましたが、今では受診率100%を維持しています。

◆ 取り組みの内容とは？

2019年11月より従業員数の一番多い事業所に血圧計を設置し、なるべく1日2回計測するよう呼びかけています。毎日の計測結果を集計し、一人ひとりの正常時の数値を把握。数値が通常と異なる場合には声かけも行っています。そのほか、昨年の健康診断の際には、希望者に肝炎ウイルス検査も行いました。事前に社内報等で、高齢の方には一度受診してもらいたいことやその理由を発信し、受診を推奨。初めは「なんとなく怖い」という声もありましたが、情報を発信し続けることで自己管理の必要性を感じてもらうことができ、気になる人には受診してもらうことができました。ストレスチェックの受診率や、高ストレス者における産業医との個人面談実施率も100%を維持しています。喫煙者も減ってきました。屋内の喫煙室を完全に取り払ったことが、良い影響を及ぼしていると感じています。さらに当社は16の医療機関とも提携。各医療機関との繋がりを、従業員の健康づくりに生かしています。

事業主・担当者からのメッセージ

代表取締役会長 大塚高典様

従業員一人ひとりが「自分の身体を大切にしなければならない」という意識を持つようになり、健康への関心が高まったことが、一番の効果だと実感しています。毎日の血圧の数値を自分のスマホに記録している従業員もいますし、毎日ちょっとした体操をしているとか意識して歩くようにしているなど、様々な声を聞くようになりました。70歳まで健康で頑張ろうという人が増えた気がします。私自身、健康について勉強したことがなかったので、最初はどの取り組みを進めていくべきか分からず落ち込みましたが、健康づくり実践アドバイザーの方に背中を押していただきました。様々な相談に細やかに乗っていただき、大変助かっています。



毎日の血圧測定



手作り健康ニュース



社内バーベキュー

企業DATA

名 称：立花運輸倉庫 株式会社
事業主名：代表取締役会長 大塚高典
業 種：道路貨物運送業、倉庫業
所 在 地：八女市龍ヶ原114-3
連 絡 先：TEL.0943-24-3711
設 立：昭和30年11月
従業員数：80名

